

## 平成 28 年度実績 大綱 白里市住民協働事業成果報告書

事業名	有償ボランティア まちサポお助け隊		
事業主体	実施団体	市（関係課）	
	まちサポ「お助け隊」	地域づくり課・高齢者支援課	
事業費	予算額	決算見込額	市補助金額
	1,930,000 円	2,883,383 円	300,000 円

### 【 ①課題 ②目的・効果について 】

次の事項がわかるように、事業概要と成果を記入してください。

- どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、  
 ○いつ ○どこで ○誰を対象 ○どんなことを ○どのような方法で実施し、  
 ○どのような効果が得られたか ○住民の満足度は得られたか。

#### 1、地域課題

ふだん普通にできていた日常生活ができなくなって困っている人や、脆弱な高齢者、障害者、子育てなどで手助けを必要とする人たちの生活課題に資することを目的に必要な事業を行う。

#### 2、取り組んだ課題

##### 有償ボランティア

- 介護保険の適用外で生活に困っている生活弱者の支援
- 高齢者の生活支援
- 高齢者が引きこもりにならないような、外出支援
- 子育て世帯、共働き世帯の子供の送迎
- 長期外出による留守宅管理

##### 会運営の強化

- 組織強化のため NPO 法人化の推進
- 課題解決のための協力会員・コーディネーターの増強
- 協力会員のサービスのスキルアップ・研修
- 関連機関、団体との協力体制の構築

### 3、事業の効果や成果、波及効果

- 高齢者世帯の自立を支える効果
- 困りごと等の生活課題をもった人に、その人自らの内にある生きる力を引き出すような立場での支援。
- 生活弱者への割安の料金での経済面の支援効果
- 子育て世帯への支援や、精神的な支え
- 体力、気力を残したりタイヤ人材を「地域」課題解消に取り組むことにより、地域との連携と本人の生きがいを創出。
- 会の NPO 法人化の推進、及び運営強化により、会員間の安定的・継続的な信頼関係を構築

### 4、住民の満足度

- まちづくりサポートセンターの会員団体であることや市の住民協働事業である事から、安心して利用できた。
- 有償であり、安い料金で利用できることから協力会員の負担も少なく、永続的に支援でき、またサービスする方も責任をもって行うことができ、また利用者も気兼ねなくサービスを受けることができた。
- 手続きが簡単でスピーディな対応であった。
- すべて手続きから集金までドア to ドアで行うことで、利用者によりやさしい対応であった。
- ボランティアの性格を有するため、サービス時間、量等で柔軟性を持って対応であった。
- キャンセル・変更等が気軽にできた。  
多くの利用者から、「お助け隊」のサービスに対し賛同の言葉を頂きました。

### 【 ③ 企画力 】

団体と市の役割分担 について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係、課）の役割
1、有償ボランティア <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活弱者支援</li> <li>● 高齢者、障がい者、子育て世代の生活支援</li> <li>● 高齢者外出支援</li> </ul> 2、会の運営強化と合理化 <ul style="list-style-type: none"> <li>● NPO 法人化</li> <li>● 協力会員の募集</li> <li>● 資金の安定化 (助成事業への応募)</li> <li>● 支援活動の拡大と合理化 (コーディネーター養成) (協力会員の研修) (会員間の情報交換・共有化とスキルアップ)</li> <li>● 関係機関との協調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 団体の活動の安定化、体質強化を図るための提言と協力</li> <li>● 市民への団体活動の広報と継続可能な事業のための、コーディネーター・協力会員募集の協力</li> <li>● 関係機関相互間の情報交換の推進</li> </ul>

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入 してください。

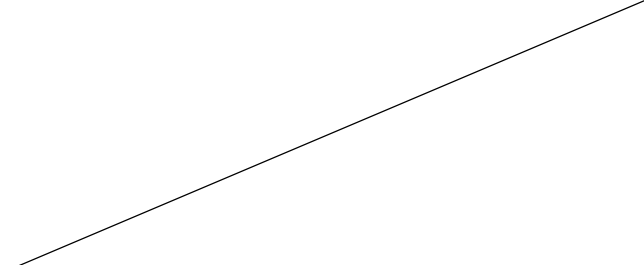
団 体	市（関係課）
<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由)	<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由)

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。

	当初の計画	実 績
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主に高齢者世帯の生活支援、庭仕事、大工仕事、買い物代行、ペットの世話、介護補助、外出の付き添い、子育て世代の援助、パソコンの困りごと等のボランティア活動</li> </ul>	<p>支援実績は2月末に既に2000件を超え、昨年度の支援活動件数以上となった。</p> <p>支援区分では代行一般が半数近く、続いて庭仕事や家事の要望が多かった。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会員募集イベント</li> <li>● 会員募集広報</li> </ul>	<p>市産業文化祭街等の街イベントに参加し、活動PRや協力会員の募集を実施した。</p> <p>市の広報誌により会員募集や活動のPRを行った。これらの効果により、現在まで15名の協力会員の参加を得たが退会者もあり増員には至らなかった</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定例会議での活動・問題点の報告等による情報の共有化により、問題解決やサービスの均一性を保持</li> <li>● 内部イベント等による協力会員間の交流及び情報交換の実施</li> </ul>	<p>毎月の定例会を、市の協力により、多くの協力会員が顔を合わせ得る広い会場で開催する事が出来た。</p> <p>総会や月例会議及び役員会等を頻繁に開催することにより、顔を合わせる機会の無い協力会員の交流の場、また、サービスの均一化をはかる為の情報交換や情報の共有化を図る場を持つことが可能となった。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会員のスキルアップ研修</li> </ul>	<p>当年度は NPO 法人化のための研修勉強会等を役員間で頻繁に実施した。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業務の見直し</li> </ul>	<p>今年度は支援希望・実績が急増を見せたため、従来の経営事務・コーディネーター等の方法では支援が困難になった。NPO 法人化を前提に、業務の見直し・合理化を検討し、コーディネーター業務の総務、会計、集金業務等の分散化を実施出来た。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「お助け隊」体験入隊イベント</li> </ul>	<p>協力会員の初めての支援活動時にはベテラン協力会員と組み合わせ、体験を実施させた。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政・他団体との協働</li> </ul>	<p>関係機関との情報交換を実施し、次年度以降の高齢者支援活動等への可能性を模索した。</p>

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった （理由）	

## 【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例:〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動出来た。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた)

---

1. 団体の安定的発展、効率的な運営を図るため、NPO 法人化を図って、対外的信頼性を高めるとともに、会のスムーズな運営を目指した。
  2. 役員専用 PC・プロジェクターを整備することにより、依頼案件のスムーズな事務処理、分析及びPR活動を可能とした。
  3. 会員募集に関する市広報誌への掲載やイベントの実施により、団体の認知度が高まるとともに会員も大きく増えた。
  4. 専用携帯電話の拡充により、支援活動の効率化を図れ、実績数の増加に貢献した。
  5. ホームページにイベント、会議スケジュール、また、会議議事録を閲覧出来るように掲載し、会員内で不足していた情報の共有化が図れた。その他対外的にもお助け隊の活動状況を閲覧出来るページを作成できた。
  6. 定例会議の場所を安定的に確保出来、会議への参加会員数の増加と安定した会の運営のための情報交換・共有化が可能となり、更には会員のスキルアップのための研修会を多く開催することが可能となり、『ボランティア活動実施マニュアル』等の対応マニュアルの作成につながった。
  7. 会員のスキルアップのための研修会や支援現地での新会員の現場指導を実施した。
  8. 関係団体間の情報交換・共有化等から、利用者紹介の増加が見られた。
  9. 今後、要望が更に増加し、行政の施策も大きく転換すると考えられる高齢者、子育て等の支援について、この分野の関係団体との情報交換を実施出来た。
-

また、その結果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった （理由）	

## 【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率生等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

- 会の NPO 法人化へ向け、関係機関の支援・助言を得た。これにより、NPO 法人として、設立を果たし、会の公共性と信頼性を高めることとなった。
- 協働事業により、関係課、関係機関との意見交換の場が出来、他団体との情報の交換や共有化が可能となった。
- 団体の今後の方向性や問題点のアドバイス及び将来の会のための指導を受けることが出来た。
- 市の広報誌による PR を実施し、信頼できる団体として認知度を高めた。
- 定例会議の場所の提供を受け、安定した会の運営と研修の実施が可能となった。
- 関係課、機関との協力関係を得、これらを通し、今後のボランティアを含めた介護・子育て支援への必要性を確認できた。今後は更なる有機的つながりや協力した活動を希望したい。

また、その協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<input checked="" type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由)	